

新盛里山耕流塾

NEWS もりの里 4月号

新盛里山耕流塾も2年目となり、気持ちも新たに平成21年度の講座がスタートしました。今年度は、昨年度参加された方が、さらにステップアップできるような内容で取り組みます。

ご意見・ご感想はこちらへ
足助支所地域振興担当 多和田、山田
TEL:(0565)-62-0601
E-mail:
asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

発行:足助支所 発行日:平成21年5月1日

4/12にもりの里 市民農園、4/19に旬裁食の開耕式が開催されました！

もりの里☆市民農園

農ある暮らしデビューの巻

今年度より新たに、もりの里 市民農園が開設され、あわせて農園利用者をサポートするもりの里 農業塾が開耕されました。



朝9時より受付を開始した後、開耕式が行われました。式には田んぼや畑を借りる方たちが出席され、少し緊張しながら子どもを連れた家族もいましたが、和やかな雰囲気でした。

開耕式終了後、オリエンテーションを行いました。圃場の用地を提供していただいた地元の地主より、田や畑の耕作を引き渡しの意味を込めて鎌の贈呈を行いました。鎌は一人一人に直接手渡されました。



はじめまして もりの里 農業塾の巻



田んぼの農業塾

午後より田んぼと畑に分かれて農業塾が開催されました。

皆さんそれぞれに有機栽培や減農薬で栽培したいという想いを胸に、メモを取りながら真剣に講義を聞きました。

耕作放棄地解消への道

農園を開設する前は、何年も耕作されていない土地でしたが、地元の方の努力によってすばらしい農園に生まれ変わりました。



早速作業開始！！

開園された農園で、農業塾終了後に早くも植え付けに汗を流す方も見えました。

スイカ、サツマイモ、ジャガイモなどを地元の講師の方にアドバイスして貰いながら植え付けていきました。



旬裁食

里山の春を楽しむ の巻

昨年度、好評でした「米づくりコース」と「里山暮らしコース」が、食育をテーマに「旬裁食」として、新たに開耕されました。

朝9時より開耕式が行われました。初めての顔合わせということで、皆さん少し緊張した雰囲気でした。

開耕式終了後、各班に分かれて、山菜採りを行い、取った山菜を調理し、試食しました。



試食した旬の食材

竹の子

わらび



コシアブラ

タラの芽



ヤーコン

菊芋

トラクターデビュー の巻

午後からは田んぼと畑の2班に別れて作業を行いました。



田んぼでは、トラクターで田起こしを行いました。機械では起こしにくい田の周辺部分は、人力で備中を使って起こしました。

女性の方も積極的にトラクターを運転されました。どの方も初めての経験でしたが、とても満足されたようです。

ほっ、とひと息 ~写真集~



落花生の種を取っています



やっぱり泥んこ遊びが楽しい!

受講生の感想

いろいろなことを映像でなくて、味までも肌で感じることができて楽しかった。(親)
ここに来る前は目が痛かったが、1日作業をしたらすっきりした。(親)
田んぼでの泥んこ遊びが楽しかった。(子)
小川での水遊びが楽しかった。(子)

山里暮らしの知恵袋 第10話 ~蜂にまつわるお話~

講師より

山里に受け継がれている知恵袋を紹介するコーナー。第10話目のテーマは、蜂。

働きもののマルハナバチ

メジロやヒヨドリがサクラの蜜を吸っていた4月。今は、マルハナバチがブルーベリーの花の蜜を吸っている。全国的にミツバチが減少しており、果物生産農家は、養蜂家の力を借りないと農業ができない状態にあるようだ。

幸い、我が家の周辺は、ハチやチョウが豊富で心配はない。ここではあまり農薬を使わないで農業ができている。自然の生態系が維持されている。

小さな虫の命が自分たちの命を与えていることを念頭に置き、農業を楽しみたいものである。

